

外来診療担当表

令和7年12月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	総合	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
	2診	加藤 亨	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦
	3診	消化器		加藤 亨	濱本 愛子	
	4診	循環器	岩田 敬和			近藤 浩幹
			横内 一彦	山田 清康	林 尋之	横内 一彦
	5診	呼吸器	13:00~ 林 尋之			
				山田 清康		
	6診	神経内科	早川 雄馬	小野寺 一成		横井 聡
脳神経外科	7診	血液	西野 貴紀	伊藤 貴彦	岩田 哲	鈴木 弘太郎
	8診	糖尿病・内分泌	一色 遼平	舟橋 夕貴子	下田 博美	高槻 健介
外科	1診	一般		那波 茂晃	梶田 泰一	
		もの忘れ外来 (予約制)	13:30~15:00 梶田 泰一			
	2診	井上 総一郎		井上 総一郎		井上 総一郎
整形外科	3診		岸田 喜彦	瀬古 浩	岸田 喜彦	岸田 喜彦
	専門外来 (予約制)		第2・4・5週 児玉 章朗 (血管外科)		杉原 実 (呼吸器外科)	
			14:00~ 岸田 喜彦 (小児外科)		第1・3・5週 13:30~ 亀井 譲 (形成外科)	
整形外科	1診(初診・再診)	狩野 智洋	中野 健二	浅井 寛之	三宅 道大	田中 真矢
	2診(予約制)		山田 陽太郎 (手・外科)		中野 健二	月1回 石塚 真哉 (膝・肩・スポーツ)
	3診(予約制)	長田 直祥 (脊椎)	鈴木 望人 (リウマチ)	幸島 寛		幸島 寛
	午後(予約制)					第4週 14:00~16:00 川崎 雅史 (股関節)
泌尿器科	1診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	第1・3・5週 青木 重之 第2・4週 山田 芳彰	山田 芳彰
	2診	森永 慎吾		森永 慎吾		
耳鼻咽喉科	1診	渡 直之	久田 聖		柴田 采佳	田邊 陽介
婦人科	1診		粥川 優	眞鍋 てるみ	第2・4週 代 務	
			第2・4週 13:30~15:30 眞鍋 てるみ (完全予約制)			
皮膚科	1診	佐竹 史章	佐竹 史章	佐竹 史章	佐竹 史章	交替制 (完全予約制)
眼科	1診	松田 泰輔	高木 勇貴	高木 勇貴	窪田 幸真	高木 勇貴
	2診	窪田 幸真	窪田 幸真	窪田 幸真		稲熊 里香
	その他					月1回 小島 隆司 (涙道・眼形成)

診療受付時間 8:30~11:30 休診日 土・日・祝日・年末年始

※担当医の都合で休診の場合があります。詳しくは各外来にお問合せください

※お電話での予約変更、お問合せ 15:00~17:00 TEL 0574-25-3113

JCHO 可児とうのう病院の「いま」を伝える

はとぶき

hatobuki

vol.40

2026 WINTER



独立行政法人 地域医療機能推進機構

可児とうのう病院

K a n i T o n o H o s p i t a l

「安心の地域医療を支える」可児とうのう病院
～予防・医療・介護の切れ目ない提供～

令和7年10月19日(日)に開催された「可児市健康フェア」において、 第22回 可児とうのう病院 市民公開講座を開催しました。

今回の公開講座では、「いつまでも見える喜びを守るために ～目の健康と予防の大切さ～」をテーマとし、座長に にしむら眼科院長 西村幸三九先生をお迎えし、安田眼科 副院長 安田俊介先生、当院 眼科部長 高木勇貴医師にご講演いただきました。



プログラム内容

1 年齢とともに増えてくる目の悩みと目の病気 ～その対策と治療～

安田眼科 副院長 安田 俊介 先生



子どもから高齢者まで幅広い世代でみられる目の不調や、加齢によって発症しやすい代表的な眼疾患について、日頃の診療で寄せられる相談を中心に、わかりやすく解説していただきました。

2 目の健康寿命を延ばそう ～緑内障の検査と治療～

JCHO 可児とうのう病院 眼科部長 高木 勇貴 医師



40歳以上の20人に1人が発症するとされる緑内障は、自覚症状の乏しいまま進行することが多く、早期発見・早期治療の重要性を、原因・検査・治療の流れを交えて丁寧に話していただきました。

当日は多くの市民の皆さまにご来場いただきました。質疑応答では、参加者から日頃抱えている具体的な悩みや、さまざまな質問が寄せられ、講師が一つひとつ丁寧に答えるなど、参加者と講師が直接交流できる貴重な機会となりました。「目の健康」に対する関心の高まりを強く感じられる、大変有意義な講座となりました。



また、ブース出展では健康管理センターが「知ってみよう、やってみよう 肺活量と握力」をテーマに、肺機能測定器による肺年齢の測定や、握力計による握力測定と平均値との比較を行い、多くの方にご参加いただきました。

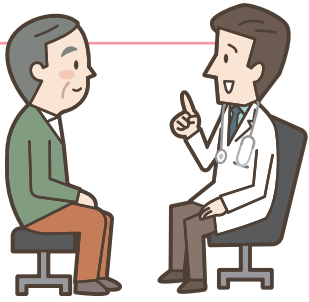
市民公開講座はコロナ禍により一時休止していましたが、令和5年度より可児市・可児医師会と連携し、可児市健康フェアのメインイベントとして再開しています。今後も行政や地域団体と協力しながら、当院の理念である「地域に密着した安全で信頼される医療と介護」の実現に向け、職員一同取り組んでまいります。



部門紹介

泌尿器科

泌尿器科では内視鏡技術の発展とともに治療の選択肢が増え、さまざまな疾患に対して内視鏡手術を行っています。内視鏡手術は従来のメスでお腹を切る方法とは違って、手術の負担が小さく、術後の痛みも少ない方法です。今回は男性に特有の疾患である前立腺肥大症（Benign prostatic hyperplasia: BPH）の内視鏡手術について説明します。

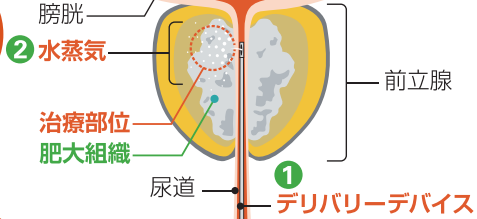


前立腺肥大症は、加齢により男性特有の臓器である前立腺が腫大し尿道を圧迫することにより、尿の勢いがなくなったり、尿の回数が増えたり（特に夜間）といった排尿に関するさまざまな症状を引き起こす良性疾患です。加齢によって増加するといわれており、60～70歳代の約6～12%の方がBPHの症状を有しているとされています。基本的にはQOLに関する疾患ですが、症状が進行すると尿閉（全く尿が出ない状態）や水腎症（腎臓に尿がたまり腎臓が腫れている状態）を引き起こし、腎機能障害に至ることもあるので注意が必要です。

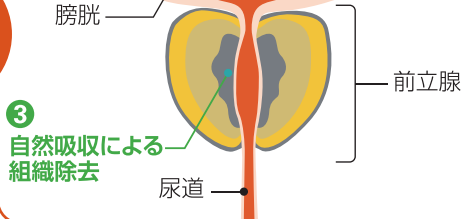
治療は薬物治療から開始しますが、薬を服用しても症状の改善が乏しい場合や、残尿量が多い場合は内視鏡手術の適応となります。当院では従来より電気メスにて腫大した前立腺を切除する方法（経尿道的前立腺切除術: TURP）や、レーザーで前立腺を丸ごと核出する方法（経尿道的レーザー前立腺核出術: HoLEP）を行っています。どちらの方法を用いるかは、前立腺の大きさや形態、年齢、全身状態や併存疾患により決定しています。

また、近年欧米で普及している、さらに低侵襲な高温水蒸気による内視鏡手術（経尿道的水蒸気治療: WAVE）も導入し、良好な成績を得ています。手術時間は約10分で終了し、出血は極少量、手術による合併症もほとんどない方法で、短期間の入院（最短3泊4日）で施行が可能です。今まで従来の方法では内視鏡手術が難しかった場合でも適応可能となる場合もあり、ご希望があれば担当医とよく相談してみてください。

WAVE治療



術後



ケーブルテレビ可見「いきマイプラス」に眼科・高木医師が出演しました。

可児市の広報番組「いきマイプラス」の“福祉と保健に関するお困りごとQ&A”コーナーに、当院眼科の高木医師が出演しました。番組では、視聴者から寄せられた「目の健康維持」に関する質問にお答えし、高齢に伴う眼疾患や早期発見の大切さについて解説しました。また、当院で新たに健診オプションとして導入予定の視野検査についても紹介しています。

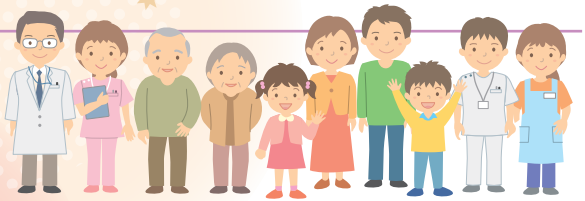


放送日時 ▶ 毎週土曜日 7:00 / 12:00 / 17:00 / 19:00 / 22:00 ※12月20日～の放送回

医療連携室

開かれた病院を目指して

医療連携室 三宅 厚子



地域連携室は、医療連携、入退院支援の役割を担い、地域住民の皆さまに包括的な医療を提供するために医療機関・介護施設との調整・連携を行っています。その連携がスムーズに行えるよう、顔の見える関係を意識し渉外活動を行っています。医師と同行し、医療機関へのあいさつ回りや、医療機関向けの「地域連携講演会」を開催、また、介護福祉の面では、地域のケアマネジャーと交流を行う「ケアマネ交流会」も開催し、そこで当院の紹介や当院に対する要望をお聞きし、改善に向けて取り組んでいます。

そして地域住民の方々に向けて各職種が地域へ外向き講座を開く「出前講座」も行っております。「可児とうのう病院はいつでも相談しやすい」と言っていただけるよう、今後もより一層、地域へ足を運び、開かれた病院を目指し取り組んでまいります。



ケアマネ交流会

地域とつながる感染対策

ICT主催「手指衛生啓発イベント」を開催しました！



11月13日（木）、正面玄関ホールにて、感染対策チーム（ICT）による手指衛生啓発イベントを開催しました。外来患者さんやご家族、地域の皆さまに、手指衛生の大切さを“見て・聞いて・体験して”学んでいただくことを目的とした取り組みです。

当日は、ICTメンバーが正しい手指消毒の方法を説明し、実演を交えながら参加者の皆さんに実際に体験していただきました。「普段の手洗いが不十分だったと気づいた」「家族にも教えたい」などの声も多く寄せられ、感染対策への意識づけができる機会となりました。



専用ローションを手についた汚れに見立て塗り、手洗い後特殊ライトの下に手をかざすと洗い残しが光り、適切な手洗いができているか確認できます。



イベント後の参加者アンケートでは94%の方に「手指消毒の大切さを理解できた」との回答をいただきました。



この冬は例年より早くインフルエンザが流行しています。手指衛生をはじめとした基本的な感染対策を日常生活の中でも意識して、皆で元気に冬を乗り越えましょう。